

プロジェクトチーム活動報告

2015年7月31日

東京湾パブリックアクセス方策検討プロジェクトチーム

○平成27年度事業計画

- ・活動2年目を迎え、チームの検討成果の大枠を固める年とする。

○現時点までの検討成果

- ・東京湾岸は、埋め立て地等が多いが、海浜公園等の整備を進んでおり、それ

を一覧化すれば「東京湾に近づくことは可能」である。

- ・東京湾の島嶼の活用を意図する。
- ・一部地域においては、立地企業の協力を得て、新たなアクセスを開発する必要がある。
- ・東京湾との接点を「視点場」とし、そこへの公共交通機関からのアクセスを主眼とするが、視点場間をネットワーク化することも意図する。

○現在取り組んでいる主要なテーマ

- ・人々を東京湾に誘うための情報（東京湾の成立、利用、環境、魚介類等）
- ・視点場における情報提供の内容と提供方法、インフラの内容
- ・前2項のメンテナンスのあり方
- ・民間企業の協力を得たモデルコースの設定

○整理すべき課題

- ・提供情報のレベルのあり方（子供、指導者、教員等の対象別の記述）
- ・海上交通を利用したアクセス
- ・視点場開設の頻度（毎日、特定日時）
- ・アクセスルートの実査

○検討体制

- ・PT会合を2か月に1回開催を原則
- ・ピックアップメンバーで、各種情報の収集と整理、データ化
- ・事務局中心に地図情報化作業を進める
- ・民間企業、自治体等へのヒアリング